



未来への第1歩！ 3年生親子入試説明会

9月30日(水)、「3年生親子入試説明会」を実施しました。多くの保護者の皆様にご出席いただき、誠に有り難うございました。

今回の説明会では、進路担当より高校入試の概要や日程、出願手続きの注意点等についての説明が行われました。3年生の皆さんには、いよいよ本格化する進路選択に向けた『自分の未来を自ら切り拓く(自律の考え)』という強い意気込みをさらに深めてほしいと思います。

〈保護者の皆様へ〉…お子様の進路決定までの道のりには不安や悩みあるかと思いますが、学校としても生徒一人ひとりの夢や希望の実現に向けて、しっかりとサポートしてまいります。ご家庭におかれましても、ぜひ今回の説明会をきっかけに、お子様の将来についてじっくり話し合う機会にしていいただければ幸いです。



1年生 マナー講習会 その②

9月30日(水)、今年度2日目の1年生を対象に「マナー講習会」を実施しました。今回は航空会社JTAで客室乗務員の育成を担当されているプロの講師をお招きし、接客の最前線で培われた、相手に伝わるマナーについてご指導をいただきました。

〈講習会の感想 1年 尾形 倫さん〉

敬語の使い方や、身だしなみは相手基準であること。接客や接遇の違いや、コミュニケーションにおいて表情が大切なことや、物事をプラスに捉えることが大事ということが心に残り、学ぶことができました。



3年生 「平和学習講話」

10月1日(木)、

「うなあ沖縄」代表の玉城直美氏を講師にお招きし、3年生を対象に平和学習講話を実施しました。「沖縄平和賞」の取り組みや、戦後の困難な時代において世界のウチナンチュ(沖縄系移民の方々)がどのように郷土・沖縄を支え、助け合ってきたかという貴重なご講演いただきました。

沖縄戦後、焦土と化した沖縄に、ハワイや南米をはじめとする海外の県系人から、豚や衣類、学用品などの救援物資が届けられ、世界のウチナンチュの強い絆と温かい思いが、復興に向けた沖縄県民の大きな希望となった歴史を学びました。講話を通して生徒たちは、国境を越えて互いに思いやり、助け合う「チムグクル(思いやりの心)」こそが平和を築く基盤であるということ深く実感した様子でした。



〈お礼の言葉 原 伊吹さん〉

今日の講座を通して、沖縄平和賞がどのような想いで贈られているのか。そして国境を越えて助け合ってきたウチナンチュの歴史や「平和のこころ」について、深く学ぶ事ができました。

「海を越えた豚物語」の朗読を聞いて、沖縄のために何ができるかを考えて、ハワイのウチナンチュが行動に移した事に、国境を越えた助け合いを感じる事ができました。

今日学んだ「平和のこころ」や国境を越えた助け合いの大切さを胸に刻み、これからの学校生活や将来の生き方にしっかりと活かしていきたいと思います。

